

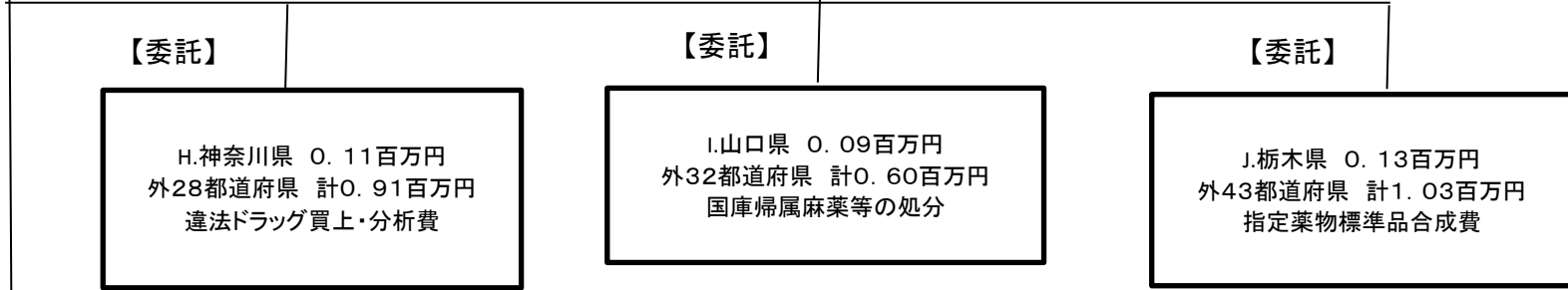
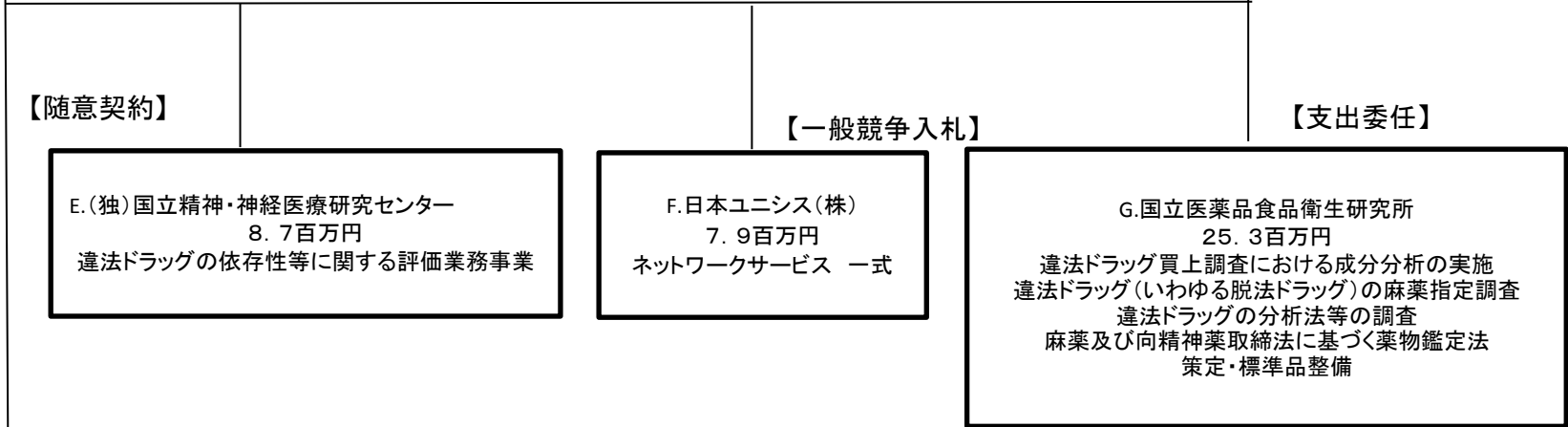
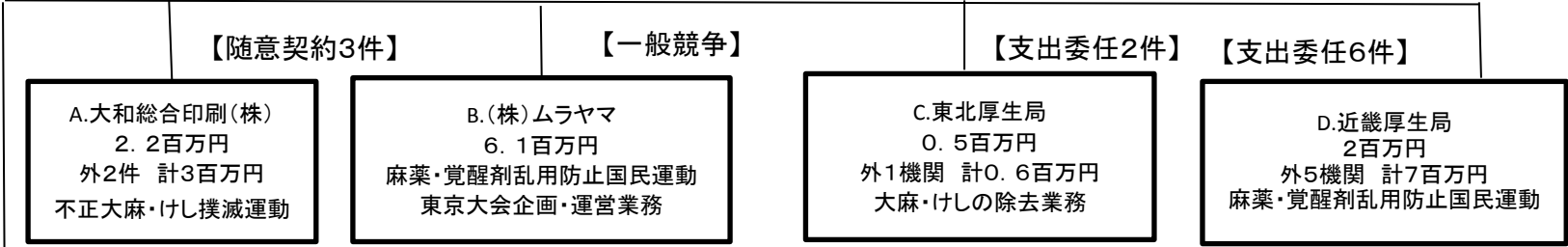
平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	麻薬・覚せい剤等対策費		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和38年度		担当課室	監視指導・麻薬対策課		課長 赤川治郎		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅱ-3-1 規制されている乱用薬物について、不正流通の遮断及び乱用防止を推進すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	厚生労働省組織令第52条		関係する計画、通知等	第3次薬物乱用防止5カ年戦略 不正大麻・けし撲滅運動実施要綱 麻薬・覚せい剤乱用防止運動実施要綱				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	麻薬・覚せい剤等の危害を国民に周知するとともに、その撲滅を図る。また、違法ドラッグの新たな成分の指定薬物への指定に必要な分析等を行うとともに、違法ドラッグの撲滅を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 地方厚生局麻薬取締部及び都道府県における麻薬取締行政職員に対する研修 2. 野生大麻・けしの除去 3. 国民運動として開催する麻薬・覚せい剤乱用防止運動の地区大会開催 4. 違法ドラッグの分析、乱用薬物の鑑定法整備等 5. 再乱用防止対策講習会の開催等							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	130	114	99	165	151	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	130	114	99	165	151	
	執行額	114	107	93				
執行率(%)	88%	94%	94%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	別紙のとおり			%				
	達成度							
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	別紙のとおり							—
				( )	( )	( )		
単位当たりコスト	別紙のとおり		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.2	0.2	事業内容見直しによる旅費の減				
	報償費	7.3	7.3					
	職員旅費	3.0	2.7					
	委員等旅費	1.4	1.4					
	庁費の類	118.7	104.2	事業内容見直しによる回線共有化に伴う通信運搬費等の減				
	委託費の類	34.5	34.7					
	あへん取締事務費交付金	0.1	0.1	統一単価改定による人件費の増				
計	165.3	150.6						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	麻薬・覚醒剤・違法ドラッグ等の乱用を防止するための取組は、広く国民のニーズがあり、優先度の高い事業である。当該取組は、麻薬や覚醒剤等の規制法を所管する国が主導して行う必要があり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	麻薬・覚醒剤・違法ドラッグ等の乱用を防止するための取組は、国・都道府県、状況によっては民間とも連携して実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	麻薬・覚醒剤・違法ドラッグ等の乱用を防止するための取組は、国民の安全を確保することに繋がる優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	少額随意契約で調達できるもの以外のものについては、一般競争入札を実施し、競争性を確保している。なお、一者応札となっている案件については必要に応じて仕様を見直す等、より競争性を確保してまいりたい。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	違法ドラッグの試買等を効率良く行えるよう、買上対象地域を絞るなどコスト削減に努めている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	地方厚生局や国立試験研究機関へ支出委任を行っており、中間段階での支出は合理的である。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	ポスター・パンフレット等の配布物は、都道府県等の希望を聴取した上で必要最小限の枚数を作成している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	点検結果に記載したとおりの成果を上げることができた。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みに見合った実績を上げている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	各種成果物は、薬物乱用防止の取組、違法ドラッグの取締り等に十分に活用され、麻薬・覚醒剤・違法ドラッグ等対策を推進するために必要なものである。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	—	—	—			
点検結果	<p>・「麻薬取締職員研修」(3週間、麻薬取締職員・都道府県麻薬取締職員・聴講生64名が参加)を開催し、麻薬取締職員として必要な知識・技術の習得及び相互協力強化を図った。また「麻薬取締協議会」及び「麻薬取締職員会議」(全国7ブロック、関係省庁・取締機関等が参加)に出席し、取締関係機関相互の協力関係強化及び情報共有を図った。</p> <p>・毎年、5月1日～6月30日を不正大麻・けし撲滅運動期間とし、運動に必要なポスター及び大麻・けしの見分け方のパンフレットを印刷し、都道府県等に送付している。平成24年度においては、自生の大麻・けしを約256万本発見除去し、大麻等の不正流通を防止した。</p> <p>・「麻薬・覚醒剤乱用防止運動地区大会」については、麻薬、覚醒剤、大麻、違法ドラッグ等の薬物乱用防止に関する啓発活動を協力に推進するため、全国7都市において実施した。大会開催については、一般競争入札(総合落札方式)によりコスト削減及び効率化を図った。</p> <p>・違法ドラッグの試買調査については、麻薬や覚醒剤と同様の化学構造を有する違法ドラッグの規制を行う観点から、国自らが実施する必要のある事業であり、指定薬物の指定に関して着実に成果を上げている。また、指定された指定薬物に関して、捜査等における鑑定・分析を実施する上で必要な分析法・標準品の整備についても、必要な取組が着実に実施されている。</p> <p>・「再乱用防止対策講習会」及び「薬物中毒対策連絡会議」(全国6ブロック、麻薬取締官、都道府県麻薬取締職員、麻薬中毒者相談員、関係職員等が参加(講習会は一般市民も参加))を開催し、薬物中毒・依存症に関する正しい知識と理解の普及、相談窓口の周知等を図るとともに、社会復帰支援に携わる関係機関間の連携を強化した。</p> <p>・国債麻薬統制委員会(INCB)等により作成された各国の薬物情勢に関する年次報告等については、必要な翻訳を行い、地方厚生局麻薬取締部、関係省庁、関係取締機関等へ提供し、各国の薬物情勢の情報共有を図った。</p> <p>・麻薬製造等免許・許可電子台帳システムの維持管理については、システムの運用に関して一般競争入札により業者を選定し、効率化を図っている。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者の点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	本事業は、麻薬・覚せい剤等対策費について、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	事業内容見直しにより、回線共有化に伴う通信運搬費等を削減した。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	346	平成23年	314	平成24年	273	

厚生労働省  
93百万円

L.事務費  
31.5百万円  
(消耗品費、賃金、旅費)



【交付金】

K.北海道 0.066百万円  
外1都道府県 計0.1百万円  
あへん取締業務

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	<b>A.大和総合印刷(株)</b>			<b>F.日本ユニシス(株)</b>		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	ポスターの印刷	2	通信運搬費	麻薬台帳専用ネットワークサービスの提供業務一式	8
	計		2	計		8
	<b>B.(株)ムラヤマ</b>			<b>G.国立医薬品食品衛生研究所</b>		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	麻薬・覚醒剤乱用防止国民運動東京大会 企画・運営業務	6	その他	光熱水料、消耗品、雑役務	20
				人件費	賃金	3
				備品費	分析機器等	2
	計		6	計		25
	<b>D.近畿厚生局</b>			<b>L.大和総合印刷(株)</b>		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	麻薬・覚醒剤乱用防止国民運動京都大会 企画・運営業務	2	その他	啓発広告の印刷	2
	計		2	計		2
	<b>E.(独)国立精神・神経医療研究センター</b>					
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	消耗品費、印刷製本費	9			
	計		9	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和綜合印刷(株)	不正大麻・けし撲滅運動用ポスター 44,760枚 外1件の印刷	2.2	随意契約	
2	協新流通デベロッパー(株)	不正大麻・けし撲滅運動用ポスター 外1件 梱包発送業務	0.5	随意契約	
3	(株)クオラス	不正大麻・けし撲滅運動用ポスター及びパンフレットデザイン作成一式	0.2	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ムラヤマ	平成24年度麻薬・覚醒剤乱用防止運動東京大会企画・運営等業務一式	6.1	3	100%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東北厚生局	大麻・けしの除去業務	0.5		
2	関東信越厚生局		0.1		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	近畿厚生局	麻薬・覚醒剤乱用防止国民運動大会	2		
2	東海北陸厚生局		2		
3	九州厚生局		1		
4	九州厚生局沖縄分室		1		
5	東北厚生局		1		
6	中国四国厚生局		0.4		

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立精神・神経医療研究センター	違法ドラッグの依存性等に関する評価業務事業	8.7	随意契約	

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本ユニシス(株)	麻薬台帳専用ネットワークサービスの提供業務 一式	7.9	1	94%

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立医薬品食品衛生研究所	違法ドラッグ買上調査における成分分析の実施 違法ドラッグ(いわゆる脱法ドラッグ)の麻薬指定調査 違法ドラッグの分析法等の調査 麻薬及び向精神薬取締法に基づく薬物鑑定法策定・標準品整備	25.3		

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	神奈川県	違法ドラッグ買上・分析事業	0.11		
2	大阪府		0.08		
3	熊本県		0.06		
4	長崎県		0.05		
5	長野県		0.05		
6	宮城県		0.04		
7	和歌山県		0.03		
8	山梨県		0.03		
9	京都府		0.03		
10	群馬県		0.03		

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	山口県	国庫帰属麻薬等の処分	0.09		
2	岩手県		0.06		
3	和歌山県		0.05		
4	兵庫県		0.05		
5	大分県		0.04		
6	新潟県		0.03		
7	富山県		0.03		
8	北海道		0.02		
9	宮城県		0.02		
10	群馬県		0.02		

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	栃木県	指定薬物標準品合成事業	0.13		
2	群馬県		0.12		
3	高知県		0.08		
4	大分県		0.05		
5	山口県		0.03		
6	宮崎県		0.02		
7	熊本県		0.02		
8	長崎県		0.02		
9	福岡県		0.02		
10	愛媛県		0.02		

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和綜合印刷(株)	B2「指定薬物の包括指定を周知する啓発広告」100,000枚 外1件の印刷	2.4	随意契約	
2	(有限)タケマエ	トナーカートリッジ等の購入(8月分)	2.3		
3	大和綜合印刷(株)	麻薬・覚醒剤行政の概況 1,950部の印刷	1.4	随意契約	
4	資金前途官吏	6月分前途資金(給与)として	1.4		
5	(財)化学物質評価研究機構	海外流通物質に係る文献等調査業務	0.9	随意契約	
6	協新流通デベロッパ(株)	指定薬物の包括指定を周知する啓発広告梱包発送業務	0.9	随意契約	
7	(株)ホンヤク社	翻訳(英語→日本語)International Narcotics	0.9	随意契約	
8	(株)ホンヤク社	翻訳(英語→日本語)World Drug Report 2012	0.9	随意契約	
9	(株)ホンヤク社	翻訳(日本語→英語)麻薬・覚醒剤行政の概況2012年版	0.9	随意契約	
10	(独)国立印刷局	麻薬封かん証紙 第12号様式 100枚綴り 1枚10面付 5冊 外2件の印刷	0.9	随意契約	

成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、麻薬・覚醒剤・違法ドラッグ等の危害の周知、再乱用防止対策及び効果的な取締りのための分析等を通じ、麻薬・覚醒剤・違法ドラッグ等の乱用撲滅を図ることを目的としており、成果について定量的に示すことはできない。	成果実績			—	—	—
達成度		%		—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	①麻薬取締職員研修の開催	活動実績 (当初見込み)	開催箇所	1 ( 1 )	1 ( 1 )	1 ( 1 )	— ( 1 )
	②麻薬取締協議会・麻薬取締職員会議への出席	活動実績 (当初見込み)	出席箇所	7 —	6 ( 6 )	7 ( 7 )	— ( 6 )
	③不正大麻・けし除去状況	活動実績 (当初見込み)	本	2,406,268 —	3,100,718 —	2,560,543 —	— —
	④不正大麻・けし撲滅運動用パンフレット等の配布	活動実績 (当初見込み)	万部	14 ( 14 )	14 ( 14 )	14 ( 14 )	14 ( 14 )
	⑤麻薬・覚醒剤乱用防止地区大会の開催	活動実績 (当初見込み)	開催箇所	6 ( 6 )	6 ( 6 )	7 ( 7 )	— ( 6 )
	⑥麻薬・指定薬物の指定	活動実績 (当初見込み)	物質	5 —	18 ( 5 )	803 ( 20 )	— ( 40 )
	⑦違法ドラッグ試買	活動実績 (当初見込み)	製品	31 —	76 ( 30 )	195 ( 138 )	— ( 150 )
	⑧指定薬物分析法の作成	活動実績 (当初見込み)	物質	5 —	18 ( 5 )	44 ( 20 )	— ( 40 )
	⑨指定薬物標準品の整備	活動実績 (当初見込み)	物質	6 —	18 ( 5 )	44 ( 20 )	— ( 40 )
	⑩薬物中毒対策連絡会議・再乱用防止対策講習会の開催	活動実績 (当初見込み)	開催箇所	6 ( 6 )	6 ( 6 )	6 ( — )	— ( 6 )
	単位当たり コスト	① 160千円／箇所	算出根拠	執行額(160千円)／開催箇所数			
② 74千円／出席箇所		算出根拠	執行額(521千円)／出席箇所数				
③ 0.54円／本		算出根拠	執行額(1,402千円)／本数				
④ 217千円／配布箇所		算出根拠	執行額(3,043千円)／配布箇所数				
⑤ 2,044千円／開催箇所		算出根拠	執行額(14,309千円)／開催箇所数				
⑥ 1千円／物質		算出根拠	執行額(1,595千円)／物質数				
⑦ 8千円／製品		算出根拠	執行額(1,696千円)／製品数				
⑧ 428千円／物質		算出根拠	執行額(18,843千円)／物質数				
⑨ 171千円／物質		算出根拠	執行額(7,541千円)／物質数				
⑩ 378千円／開催箇所		算出根拠	執行額(2,270千円)／開催箇所数				